

※今年度は坂本中学校学校報の題名を、校訓である『一意力行』とさせていただきます。

一人一人の可能性を広げ、高めていく学校に！ 校長 氷室 武志

令和7年度がスタートしました。新1年生113名を加え373名での新生坂本中学校のスタートです。私は、始業式、入学式で“学校は自分の可能性を広げ、高めていける場所であること”を確認し、坂本中学校の校訓『一意力行』に関わらせながら、この一年、「心を働かせ、するとよいことを判断していく姿」と、「自ら行動を起こす姿」を追求してほしいと全校生徒に語りました。

実に坂本中学校の生徒は頼もしいです。生徒会執行部はするとよいこととして坂本中3本柱『挨拶 合唱 掃除』を全校に提案しました。西崎生徒会長の言葉は、以下のとおりです。

坂本中学校は、「挨拶、合唱、掃除」の3本柱を大切に生活していきます。この3本柱は日常生活を向上させ、一人一人が充実した学校生活を送る基盤となるものです。また「体育祭」や「合唱祭」などの行事を通して、学級や学校全体でのつながりを築いていきます。しかし、学校生活の中では、時には困難にぶつかることもあります。しかしそんな時こそ、自分を成長させるチャンスです。失敗をおそれず、するとよいことを判断し、何事にも一生懸命取り組むことを大切に、自分のもつ可能性を広げていきましょう。

【坂本中学校 西崎颯志前期生徒会長】

西崎生徒会長が全校に提案してから二週間が経とうとしていますが、元気な挨拶、黙々と取り組む掃除、一生懸命に歌う合唱などの姿が見られるなど、生徒たちが自分たちの学校を自分たちの手でよくしていこうとする思いが感じられ、確実に学校に新たな活気が生まれています。まさに一人一人の可能性を広げ、高めていく学校として、よいスタートが切られています。

今後とも坂本中全職員で、生徒たちの自発的、自治的な活動を支援しながら、生徒の可能性を広げ、高めるために、情熱をもって生徒に関わり、指導しています。今年度も引き続き、保護者の皆様、地域の皆様には、ご支援、ご協力いただき、一緒になって、生徒たちの可能性を広げ、高めていきたいと考えます。今年度もよろしくお願いいたします。

